

# たまかわ

1996

12

No.364

空と緑“新、呼吸する”——広報TAMAKAWA

# 伝

## 福島県縦断駅伝競走大



みんなで  
つな  
繋いだ = 6時間2分27秒 =

村民の皆さん

応援ありがとうございました



寒空にスタートの号砲が鳴った  
孤独を期待のプレッシャーの中を  
走る 走る 次の走者目指して

長く辛い練習に耐え  
郷土の誇りをタスキに託し  
走る 走る

次の友目指して  
苦しい 痛い 沿道の声援が聞こえる  
汗と涙が頬を伝う

走れ 走れ 栄光のゴール目指して

102・1kmのドラマ

福島県庁前にゴールする宇野選手

# 第8回 市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大会

START  
白河総合運動公園

GOAL  
福島県庁

福島大学 松陵中学校 二本松市役所 本宮橋 南児童遊園地前 行健小学校 郡山総合体育館 日本全業工業 須賀川市役所 鳥見山陸上競技場 矢吹町役場 泉崎村役場前 フランスベッド 東北工場前 運動公園入口

8.8km 3.8km 10.5km 10.0km 8.9km 3.1km 5.2km 5.4km 8.1km 5.4km 7.3km 8.8km 8.6km 3.3km 3.9km

第15区 草野敏史選手 (岩法寺、学石川高3年)	第14区 鈴木文子選手 (南須釜、清陵情報高3年)	第13区 関根勝夫選手 (北須釜、学石川高3年)	第12区 小針正光選手 (北須釜、東京精工(株))	第11区 塩沢和彦選手 (南須釜、(株)仁和運送)	第10区 須藤裕子選手 (川辺、泉中3年)	第9区 境田浩章選手 (吉、須釜中3年)	第8区 鈴木悟選手 (竜崎、泉中3年)	第7区 我妻広弥選手 (山小屋、県石川高2年)	第6区 石森猛選手 (山小屋、学法石川高1年)	第5区 真野目雄治選手 (河平、須釜中1年)	第4区 藤田貴裕選手 (小高、学法石川高3年)	第3区 深谷亮選手 (川辺、泉中3年)	第2区 鈴木貴子選手 (中、泉中3年)	第1区 高橋由美子選手 (川辺、須釜中3年)
--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	---------------------------	---------------------------	------------------------------



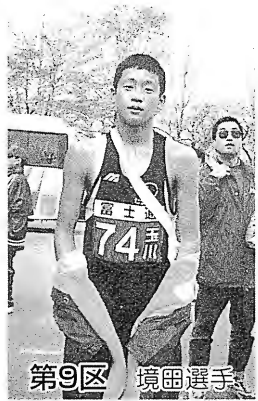
第14区 鈴木選手

「14区を走るのには、今回で3回目だったので気持ち的には楽に走ることができました。まだまだ力不足ですが、自分の思い通りの走りが出てきたので良かったです。」



第12区 小針選手

「足の故障で思うような走り込みが出来ず、後半はかなりバテました。沿道で声援してくださった皆様、寒い中どうもありがとうございます。」



第9区 境田選手

「練習の成果を出し切ったベストの走りが出来たので良かったです。自分の目標にしていたタイムより良いタイムを出せたので悔いも残りません。とてもいい思い出になりました。」



第15区 草野選手

「通電」

「途中で歩こうかと思いましたが最後まで走ってよかったなあ、うれしいです。高校最後の駅伝だったので、ヤル気満々でしたが、結果としては満足いきませんでした。しかし、完走したので良かったです。」

「自分の自己ベストが出て良かったと思います。地元応援もあつたので良い記録ができたと思います。ベストコンディションで臨めたのが良かったです。去年より順位も上がり来年も頑張りたいと思います。」



第11区 塩沢選手



第13区 関根選手

「体調はわりと良かったけれど目標タイムで走れたので良かったです。来年は、もっと良いタイムで区間一桁(の順位)で走れるようにこれから練習をして行きたいと思います。」

「自分の力が出せたので良かったです。福島駅伝に初めて出て、とても緊張したけれど良い思い出になったと思います。自分が目標にしていたタイムを切れたので良かったです。」

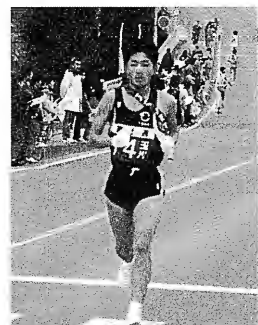


第10区 須藤選手



第6区 石森選手

「寒かったけど走ってみたらいい感じでした。来年に向けて目標を立てて頑張りたいと思います。これからの練習を真剣にやり、総合順位を上げるように1秒でも早く走るようにしたいと思います。」



第4区 藤田選手

「一般の人のスピードは中学生と違って速かったです。5km〜6kmの間が一番苦しかったです。満足度は75%くらいです。レベルが高かったため来年はもっと練習して頑張ります。」



第3区 深谷選手



第1区 高橋選手

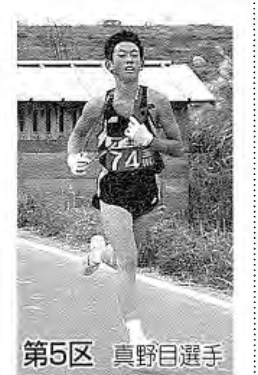
「初めての1区で緊張する暇もなかったです。走っているときは2区で鈴木さんが待っていることを考えていました。納得出来る走りができずに心残りです。監督、コーチの期待に答えられなかったと思います。また、駅伝をやりたいと思います。」



第7区 我妻選手

「中継所(8区)に行つたときにタスキを渡す人がいなくなつたのが悲しかったです。走る前にタスキを渡すこと、完走することだけを覚えてスタート位置につきましても。」

「今年は初めてタスキの重みを感じて走ることができました。体調は、決して良くはありませんでした。チャンスがあれば、また選手として走りたいです。最後に監督、コーチ、公民館、体育指導員の方に感謝いたします。」



第5区 真野目選手

「練習よりも楽しめました。5kmまで70%の力で駆け抜けました。それが本番で出来て良かったです。最後に村民の皆さん、本当にありがとうございました。来年の玉川選手団に一言「終わりはいつも始まりの証」」

「何も考えずに走りました。1区の高橋さんの頑張りがすごかったのでものを無駄にしないよう一杯走りました。苦しくなった時に監督やコーチからの一言が心の支えになりました。ありがとうございました。」



第2区 鈴木選手

## 晩秋の 福島路を走る

第8回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会の開会式は11月16日午後2時30分に白河市総合体育館で開かれました。県内88市町村(市10、町52、村26)の選手団、関係者が出席。玉川村からは溝井監督以下選手団が出席して翌日の大会への健闘を誓い合いました。大会は、11月17日(日)午前8時に白河総合運動公園陸上競技場をスタート。白河市から福島県庁までの全15区間、102・1kmで競技が行われました。

## 総合 1258位 村の部 12位

白河市を出た選手団は市内から泉崎村へと駆け抜け一路、福島市のゴールを目指して行きました。玉川村チームは前半の健闘虚しく、鏡石町の鳥見山陸上競技場で無念の繰上げスタートとなってしまいました。

しかし、選手たちは常に冷静な走り続け、通算記録6時間2分27秒で県庁前のゴールテープを切りました。昨年の記録を約2分間縮める好記録となりました。総合順位で58位(昨年60位)、村の部26チーム中12位(昨年14位)と全て昨年の記録を上回る健闘をしました。



レース後、全員で記念撮影(県庁前にて)





# 玉川村戦没者追悼式・慰霊祭

## 戦没者二二三御柱をしのぶ

玉川村主催の戦没者追悼式は、11月21日(日)午前9時30分から村民体育館で開かれました。追悼式には、関係者一六〇名が出席して日清・日露戦争、太平洋戦争で亡くなった村内の二二三御柱をしのびました。また、このあと午前10時30分からは、玉川村遺族会主催による戦没者慰霊祭が開かれました。

### 遺族ら多数参列

追悼式では、参列者全員で君が代斉唱のあと戦没者への黙祷。車田村長が式辞を述べたあと福島県知事代理で県中社会福祉事務所の岡崎輝雄次長、玉川村議会の宗形徳次副



式辞を述べる車田村長

議長、石川地方遺族会の小池六男会長、玉川村遺族会代表者の真野日照治さん(河平)からそれぞれ追悼のことばがありました。戦没者に現在の玉川村の発展の様子と安らかに眠られること、そしてあの悲惨な戦争が二度と繰り返されない恒久平和を願って止まないことが述べられました。

### 英霊よ、安らかに

慰霊祭では、体育館のステージに祭壇が設けられ、遺族代表として村遺族会副会長の小原明昭さん(南須釜)から祭文が読み上げられたあと祭事が行われました。最初に神式

このあと、関係者と地区遺族の代表者22名が戦没者に献花をして閉会となりました。



### 玉川ライオンズクラブ

## 結成5周年を祝う

玉川ライオンズクラブでは11月17日(日)午後2時からマーヴェラス末広で結成5周年を記念した式典が開かれました。式典には、会員のほか上部組織である332-D地区やスポンサークラブである郡山東ライオンズクラブの役員、友好ライオンズクラブなどの関係者、車田村長などが来賓として出席し5周年を祝いました。玉川ライオンズクラブは平成4年6月11日に26名の会員で結成され、公共施設の清掃活動や美化運動、スポーツ活動の推進、福祉・教育活動などへのボランティア活動を展開しています。また、今回の5周年記念式典実行委員会では、5周年を記念して村ふれあいセンターに歩行訓練用階段やスポーツ少年団(ソフトボールとミニバスケット)の設立と団旗の寄贈を行いました。



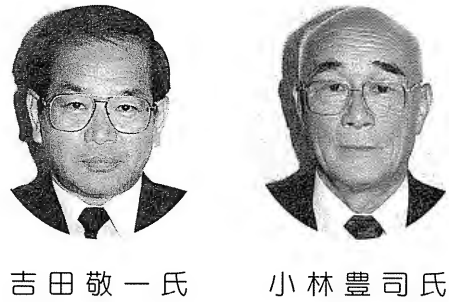
記念式典のようす



ふれあいセンターに贈呈された歩行訓練用階段

### 教育委員に

## 小林豊司氏(再) 吉田敬一氏(初)を任命



吉田敬一氏 小林豊司氏

任期満了に伴う新たな教育委員への辞令交付式が、11月19日(火)午前8時30分に村長室で行われました。11月11日の臨時議会において選任された小林豊司さん(竜崎)、吉田敬一さん(小高)の2名に車田村長から辞令書が交付されました。小林委員は2期目、吉田委員は1期目で、任期は、11月19日から4年間となります。なお、大竹義明さんは11月18日付で退任されました。

## 教育長に小林氏再選



小原教育委員長から辞令書を受ける小林教育長

玉川村教育委員会は、11月19日(火)午前9時から村就業改善センター集談室で行われました。教育長に小林豊司氏が再任され、小原嗣男教育委員長から辞令書が交付されました。小林教育長は、「2期目となりますが、健康に留意して頑張りたいと思いますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願いたします。」と挨拶しました。

## 岩谷浩光さん(小高)に地域文化功労者表彰

### 文部政務次官から授与

文化庁の今年度の地域文化功労者として、岩谷浩光さん(80)が小高町西屋敷90-IIが選ばれ、11月19日(火)に東京都千代田区の如水会館で文部大臣代理の佐田玄一郎文部政務次官から表彰状が授与されました。同表彰は、芸術文化や文化財の保護などに尽力された個人や団体をたたえる顕彰制度です。全国各地から73人と18団体が表彰を受け、福島県からは、2名が受賞しました。岩谷さんは、地域の文化財の保護に貢献されたのが認められて今回、うれしい受賞となりました。

### 身に余る 光栄です

岩谷さんは、現在、村文化財保護会長や県立博物館調査委員などを努めており、また、郷土史研究会でも長い間会長として活躍されました。今回、表彰を受ける会場では身が引き締まる思いから、かなり緊張したとのことでした。「身に余る光栄です。これも地域の皆様のご指導、ご協力をいただいたお陰であります。これからの余生を地域の文化向上に微力ではありますが尽く

### 村長へ報告

受賞後の11月22日に村役場を訪ね、村長、教育長に受賞の報告をしました。村長から「受賞、誠にめでたく、今後の益々のご活躍を期待いたします」とお祝いのことばが寄せられました。



村長に報告する岩谷さん(村長室にて)

# トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



## 第21回玉川村芸能発表会 唄と踊りで賑わう

玉川村民文化祭の最後を飾って第21回玉川村民謡民舞芸能発表会が11月10日に村民体育館で開かれました。発表会は、午後1時に開演となり、多くの民謡ファンが訪れました。玉泉会会長の阿部幸太郎さんからあいさつのあと、草野公民館長からの来賓祝辞が行われました。



すぐに発表会が始まると出演者全員による「玉川小唄」の曲での踊りと「さんざ時雨」の唄が披露され華々しく幕が開きました。出演者は、矢吹町や石川町などの村外の団体も参加して、52の唄と踊りの出し物が上演されました。

11/10

## 福島県立博物館移動講座 地元の歴史を学びました

福島県立博物館移動講座は、11月9日(土)午後1時から玉川村就業改善センター2階農研室において開かれました。同講座は福島県立博物館と玉川村教育委員会の共催により県立博物館学芸員の菊地芳朗先生が講師となって行われました。受講者25名に「玉川村の古墳」と題して古墳の種類や年代、立地分布などについての講義が行われました。このあと、実際に「悪戸古墳」「百八横穴」「宮前古墳」を視察しました。なお、10日午前10時から「玉川村の自然災害史」と題して、主任学芸員の香内修先生による講義が就業改善センターで行なわれました。



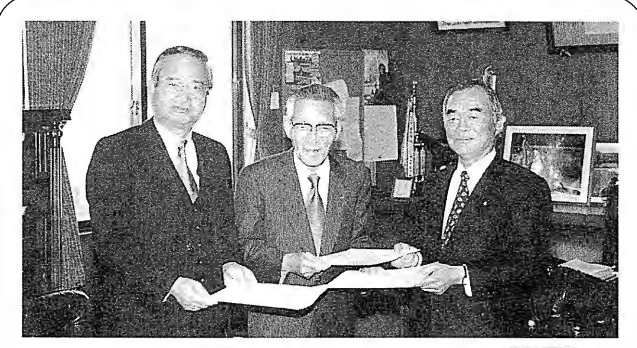
菊地芳朗先生による「玉川村の古墳」の講義

## ふくしま駅伝選手激励会 村選手団を激励

泉婦人会(車田洋子会長)主催によるふくしま駅伝玉川村選手団の激励会が11月9日午後2時に玉川村就業改善センター1階産就室において開かれました。選手団は、朝からの記録会が終わったあと直ぐに会場に集合。車田洋子泉婦人会会長から激励のあいさつのあと、車田大会本部長(村長)と溝井監督から婦人会の皆さんに感謝のこたげが述べられました。13名の会員による手作りの料理が振る舞われ、選手たちは皆んな喜んで食べていました。なお、この激励会の費用は、泉婦人会が文化祭の際のバザー益金で行われました。



11/9



## ボートピア玉川が着工 11/14 村と浜名湖競艇企業団が調印式

本村岩法寺地区に計画が進められている場外舟券売り場、ボートピア玉川(仮称)の本場となる浜名湖競艇場の運営を行っている浜名湖競艇企業団(静岡県湖西市、雄踏町、新居町、舞阪町の1市3町)と関係者が来村。村長室において運営に係る協議や売上げの1.5%を本村に納めることなどを明記した協定書への調印式が行われました。このあと、現地において建設起工式が行われました。建設計画では、敷地面積が16.7ヘクタール。ドーム式鉄筋2階建ての約5,000平方メートル、室内には客席、200インチのオーロラビジョンが設置され、レースをリアルタイムで映し出すシステムになります。完成は、来年の秋ごろになり、年間約220日程度の営業が予定されています。

11/14



川辺第8納税組合の大竹武組合長は、福島市の杉妻会館において行われた社会保険庁長官表彰伝達式の席上、国民年金納付優良民間組織として晴れの表彰を受けました。川辺第8組合は、昭和46年には県知事賞を受賞し、長い間、未納者がなく完納されており他の模範となることから今回の受賞となりました。大竹組合長は、「組合員14人全員の協力を無くしてはできないことです。皆の連帯感が実を結び受賞へとつながり大変うれしく思います」と喜びを表していました。

11/19

## 第10回村長杯ゴルフコンペ チャリティ募金を社会福祉協議会へ寄付

玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会(松田功委員長)では、石川カントリークラブにおいて第10回村長杯ゴルフコンペを開きました。コンペには135人が参加しました。終了後、マーズエラス末広で行われた表彰式では、参加者によるチャリティ募金が行われ、117,977円が集まりました。この募金は14日に村社会福祉協議会に寄付されました。なお、成績上位は次の方々でした。(敬称略)



実行委員の小針常美さんから車田社会福祉協議会長へ

11/13

## 事業所を訪問 お仕事ごくろうさまです



「勤労感謝の日」を前に、泉保育所と、すみ幼稚園の児童が駐在所、郵便局、泉郷駅、役場などを訪問。児童たちは「お仕事ごくろうさまです」と声をかけ、持参した花や手作りの飾り物をプレゼントしました。また、訪問した児童にはお礼として菓子などがくばられました。



役場を訪問したすみ幼稚園児

11/22



ふくしま駅伝より

『国の教育ローン』の概要

お申込窓口	保証	ご返済方法	お使用みち	ご融資期間	利率	ご融資金額	ご利用いただける方
郡山市清水台1丁目6番21号 国民金融公庫 郡山支店 ☎0249(23)7140	(財)教育資金融資保証基金または保証人1名以上	元利均等毎月払い(ボーナス併用返済、ステップ返済、半年賦・年賦返済も可能)	1、入学時に必要な費用(入学時学校納付金、受験のための費用、その他入学のために必要な費用) 2、在学中に必要な費用(授業料など学校納付金、下宿代等住居にかかる費用・通学に必要な交通費)	8年以内 (在学期間以内で元金据置可能。但し、最長4年) 交通遺児家庭または母子家庭は1年の延長が可能	年3.1%(平成8年十一月十一日現在)	学生・生徒お一人につき一五〇万円以内	つぎの学校に入学、在学される方の保護者又はご本人 ●高校、高等専門学校 ●短大、大学、大学院 ●専修学校、各種学校、予備校(許可されたもの) ●盲学校、聾学校、養護学校の高等部など ●外国の高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院(6か月以上の留学に限りません) ●その他職業能力開発校などの教育施設 中学卒業以上で就業年限が6か月以上の教育施設に限りません。

12月の健康ごよみ

18日(水) 母親教室..... 保  
午前9時15分~ 須  
育児教室..... 受  
午後1時 受  
20日(金) 1歳6カ月児検診..... 保  
午後1時30分~ 受

保:保健センター 須:須釜公民館  
石:石川保健所 受:受付時間

伝言板

新年互礼会開催のお知らせ



玉川村の新年互礼会は、次の日程により開催いたします。  
なお、参加を希望される方は、事前に参加申込を忘れずにしてください。

- ◆日時 平成9年1月6日(月) 午後2時
- ◆場所 マーヴェラス末広
- ◆会費 3,000円
- ◆申込方法 玉川村総務課☎(57)4621までお申込みください。
- ◆申込期限 12月24日(火)まで

年末年始の衛生処理日程

- ◆燃えるゴミの収集  
平成8年12月31日(火)は収集します  
平成9年1月3日(金)は収集しません
  - ◆危険物(燃えないゴミ)の収集  
泉地区の収集日 12月25日(水)  
須釜地区の収集日 12月26日(木)
- ※平成9年1月1日(水)、2日は休みとなります。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。  
厚く御礼申し上げます。

川辺の野崎角男さんから	2万円
村長杯ゴルフコンペ実行委員長 松田 功さんから	117,977円
竜崎の小林晴一さんから	2万円
小高の有賀壽正さんから	3万円
藤生の真弓勝昭さんから	3万円

(村社会福祉協議会)



村のようす

(8年12月1日現在)

- 1,729戸(+5)
- 7,658人(+15)
- 3,753人(+7)
- 3,905人(+8)

お誕生おめでとうございます

(11月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
小高	車田 亮	信 彦
中	小針 有希菜	仁 一
岩法寺	草野 妃奈子	寛
南須釜	廣川 光 熙	彰 仁
〃	大野 亜沙菜	博 良
〃	矢内 志 歩	清 吉
北須釜	草野 祐 輔	直 一

おくやみ申し上げます

(11月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	野崎 正 光	81	角 男
小高	有賀 キノ	86	壽 正
竜崎	小林 清 晴	73	晴 一
〃	鈴木 多 枝子	60	吉 徳

玉川村短歌会佳作抄

目覚めても今日一日のプランなど立てようもなき老いの一日  
女郎花の黄の花揺れる裾の道今日もひとりの杖つきてゆく  
庭師なる友の笑顔が彷彿と目に浮かび来る 遺業に對う  
羽鳥湖の水瓶割れて地層現れ見ればなつかしの君の古里  
各党の綱引き合うも閑せずのわが農がある畝も生きつつ

小針 登里  
吉田 サヨ  
小針 守次  
小針 愛子  
溝井はなよ

村公民館

今月の納税

固定資産税 第3期  
国民健康保険税 第6期  
国民年金保険料 12月分

【納期限は12月25日(水)です。  
忘れずに納めましょう】

玉川村結婚相談所から  
お知らせ

玉川村結婚相談所では、明るく活気に満ちた感動のある玉川村を目指し、また、若者の定住の促進とその配偶者の確保に寄与することを目的として、次の要件に該当する婚姻を対象に報償金と記念品の贈呈を行っております。

- ◆村内に住所を有し、将来とも永く村内に居住見込みのある者の婚姻
- ◆長男、長女等その家族の後継者として家庭を継ぐ者又は、継ぐ見込みのある者の婚姻

なお、報償金等の支給を受けようとする方は、10日前までに相談員(広報たまかわ号外書中お見舞い名簿を参照ください。)又は、玉川村結婚相談所までお申し出ください。

◆お問い合わせ先  
玉川村結婚相談所 ☎(57)4628

11月15日から2月15日まで  
狩猟期間です。

11月15日から狩猟解禁になりました。  
山林などに入る際には十分に注意してください。



国の教育ローン  
年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に10年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

また、この貸付は、国民金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

〈融資金額〉 学生・生徒1人につき  
厚生年金保険加入中の方 100万円以内  
国民年金加入中の方 50万円以内

〈融資利率〉 年3.40%(平成8年9月1日現在)

〈返済期間〉 8年以内(据置期間は在学期間内で最長4年)

〈お申し込み・お問い合わせ先〉  
社福島県年金福祉協会  
☎0245-22-2611

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集 恩師を訪ねて⑦

「泉中学校の勤務時期と担当教科を教えてください。」

「昭和36年4月から42年3月までです。教科は数学でしたが、初めは苦手な英語や音楽も担当したこともありました」

「当時の泉中学校の自然環境はいかがでしたか。」

「近くに池があったとしてもいいところでした」  
「生徒印象はどうでしたか。」

「明るく素直で、私などは友達のような気分で過ごさせていただきました。新任校でしたので一番生徒の年齢に近かったので気持が、よく分かりました。(私が、



10月9日秋の遠足1、2年生と(集落の向こうは猪苗代湖)

郡山市生まれ、福島大学学芸学部卒。東赤、泉中学校を振出し蓬田小、富田小、現在、赤、芳小、高瀬小、赤木小として勤務。趣味、特技は「退職したらと思っと思っていますが、これはというものは持っていないような気がします」。郡山市湖南町荒町238に夫と2人暮らし。

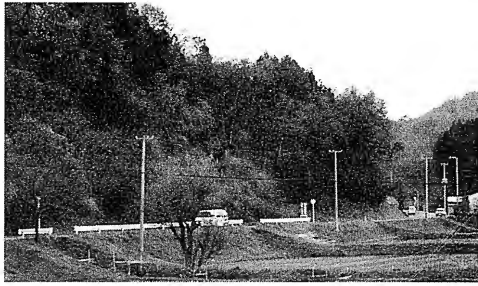
みどりかわよしこ 緑川美子先生 (旧姓 渡辺)

「主人がお寺の住職という関係で4年前から湖南町の福良にあるお寺に住んでいます。そこから同じ湖南町にある赤津小学校に通動しています。車で5、6分位のところですよ」

「昨年、一度行ったきりですが当時のおもかげが余り無いように感じました。迷子になりそうでした。とても住み良くなりましたね」

「10月9日秋の遠足1、2年生と(集落の向こうは猪苗代湖) 郡山市生まれ、福島大学学芸学部卒。東赤、泉中学校を振出し蓬田小、富田小、現在、赤、芳小、高瀬小、赤木小として勤務。趣味、特技は「退職したらと思っと思っていますが、これはというものは持っていないような気がします」。郡山市湖南町荒町238に夫と2人暮らし。

※このコーナーへの恩師の紹介を募集しています



シリーズ「たまかわの俗地名」

おおがね 『大金』の由来(南須釜)

南須釜校窪の塩澤藤雄さん宅周辺を「大金」と呼んでいます。いつ頃から「大金」と言われたかというところ、今からおおよそ180年前のこと。以前、南須釜字小半弓地内で製鉄所の遺跡(小半弓遺跡)が発見されましたが、この製鉄所への原料鉄鉱石がここ校窪地内の塩澤藤雄さん宅の裏山周辺から掘られていました。この辺りが鉱山になっていたことから、この地を「大金」と呼ぶようになったと言われている。小半弓製鉄所開設が認められた許可証や初めて精錬された「初産鉄」が都々古別神社に奉納されています。

終戦当時、北須釜に住んでいた田中さんという鉱山師がこの大金の畑から掘り出された石を分析してもらったところ鉄の含有量が非常に多いことが判明。本格的な現地調査を行ったところ鉱脈が小さすぎることから鉱山としての開発が出来なかったということがありました。また、塩澤さん宅の井戸水で焚いた風呂に入ると「さっぽ」が治癒することが話題となり、地元をはじめ近隣の町村からも入り来て「大金の湯」として流行ったこともありました。これも鉄分が豊富だったからと言われました。(小山田義美)

東京玉川会コーナー



心に残る 我がふるさと

『思い出に残る風情…』

東京都日野市 守永工イさん

(竜崎出身・上野文吉さんの妹)



平成8年8月 自宅にて

こんにちは、守永工イです。私は、小学校1年から4年まで竜崎分校で学び、5、6年生は家から4km程の道のりを本校に通学しました。今では道も綺麗に舗装され、路肩には綺麗な花がいっぱい咲いていますが、当時は凸凹の道でした。春、家々では田植えの支度で忙しい時期でした。田植えの頃は岩法寺山が霞んで見え、一面に水を張った水田は眩しく輝いており、大勢の人々で賑わっていました。しかし、今では田植えを行う人も少なく、藁の香りが懐かしく思うこの頃です。

秋、たわわに実った稲穂に人々の笑顔が見えます。この実りの様子を版画にしてみましたのでご覧ください。(左下の版画)

私が子供の頃、「乙字ヶ滝」「蝦夷穴」などは私達の憧れの遊園地



で、仙人ぐらしを味わったところでもあり思い出の場所です。玉川村の便りを目にするたびに村が大きく動いているのが感じられます。また、東京玉川会の総会に出席して故郷「玉川村」出身の人々と会って、ふるさとの思い出話などでの談笑はとても楽しいことです。